

事務事業評価表(既存事業)

コード 12-2-7	事務事業名 小学校ランチルームの整備	所管部課 学校教育部学務課					
事務事業の概要	事務事業の目的 全小学校にランチルームを設置または整備し、学校間の格差を是正し、多様な学校給食を実施してより豊かな人間関係の形成を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学校教育の充実(創2-3) (主要施策)給食環境の整備					
	実施内容、実施方法 市立小学校19校のうち、15年度未設置校5校(田無小・保谷第一小・保谷第二小・向台小・上向台小)及び未整備校4校(中原小・東小・本町小・柳沢小)の9校のうち、16年度は田無小と向台小の2校に設置した。	根拠法令等					
	事業開始時期 平成14年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 設置・整備校数	活動指標の考え方(定義) 新たに設置、または既存ランチルームを整備した校数					
	成果指標名 設置率	成果指標の考え方(定義) 19校のうち設置または整備が終了した学校の割合					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		18,538	13,751	23,716	0	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		18,538	13,751	23,716		
	所要人員(B)	人	0.07	0.07	0.11		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	577	579	916	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	19,115	14,330	24,632	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(設置・整備校数)	千円	9,558	7,165	12,316	0	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	校			2	0
		実績値	校	2	2	2	0
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	%			63.16	0	
	実績値	%	42.11	52.63	63.16	0	
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)						
	国・都・他市・民間等 における類似事業		小学校における設置率(16年度) 全都59.17%、区部59.54%、市部61.56%				
	運営上の制約条件・ 外部要因等		設置校には改修工事費がかかったり、整備校でも既存の机・イスが利用できる学校があったり、学校ごとに費用差がある。				

コード 12-2-7	事務事業名 小学校ランチルームの整備	所管部課 学校教育部学務課
---------------	-----------------------	------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	田無小及び向台小の2校に設置した。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	教室での食指導のほかに、ランチルームを活用し、地域の人を招待したり他学年と交流したりすることにより、望ましい人間関係を形成することに寄与している。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	限られた財源の中で、部屋の広さに応じた工事内容を検討し、学校のランチルームに見合った備品を選定している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	ランチルームを効率的に活用している学校と、ランチルームがない、もしくは整備が必要な学校との格差を今後も埋めていく必要がある。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	教室での通常の給食と違う環境や形態で給食を行うことにより、人間関係の形成や食べ物に対する理解を効果的に指導することができるため、今後も継続して実施していきたい。

17年度における改善点	予算査定により事業延伸
-------------	-------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。